2026年11月12日

各　位

会社名　　株式会社チェンジホールディングス
代表者名　　代表取締役兼執行役員社長　福留　大士
（コード番号：3962　東証プライム）
問合せ先　　取締役兼執行役員ＣＦＯ　山田　裕
(TEL.03-6435-7347)

減損損失の計上並びに業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2027年３月期中間連結会計期間（2026年４月１日～2026年９月30日）において、連結子会社であるイー・ガーディアン株式会社（以下「EG 社」といいます。）の株式取得時に計上したのれんについて、下記のとおり減損損失を計上いたしました。これに伴い、2026 年 11 月 12 日開催の取締役会において、2026 年５月14日付け「2026年３月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」において開示いたしました2027年３月期（2026年４月１日～2027 年３月 31 日）の連結業績予想及び配当予想を、下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

１．のれんの減損損失の計上について

（１）減損損失の概要及び経緯

EG 社において、AI の普及に伴う事業環境の変化等の影響により、取得時より収益性が低下していることから減損の兆候があると判断したため、2027 年３月期中間連結会計期間においてEG 社を資金生成単位とするのれんの減損テストを実施いたしました。

その結果、当該資金生成単位の回収可能価額が帳簿価額を下回ったため、当該超過額のうち親会社持分相当額5,968百万円を減損損失として認識し、計上しております。

（２）今後について

本件減損損失は非資金項目であり、当社グループのキャッシュ・フローに直接の影響を与えるものではありません。本件が当期の連結業績に与える影響は「２．連結業績予想の修正について」に反映しております。

今後、当社グループは、EG 社において、BPO センターへの AI 実装による AI-BPO 化の加速、IP・芸能・メーカーの３領域に集中した AI×監視ソリューションの提供及び経営体制の強化を軸にした再成長に取り組んでまいります。

２．連結業績予想の修正について

（１）通期連結業績予想数値の修正（2026 年４月１日～2027 年３月 31 日）

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的１株当たり当期利益
前回発表予想（A）（2026 年５月 14 日公表）	57,823～59,000	11,500～12,500	10,773～11,773	7,019～7,671	6,690～7,311	99 円 33 銭～108 円 55 銭
今回修正予想（B）	47,000～53,000	0～6,000	△700～5,300	△2,300～1,650	△2,200～1,600	△32 円 66 銭～23 円 75 銭
増減額（B－A）	△10,823～△6,000	△11,500～△6,500	△11,473～△6,473	△9,319～△6,021	△8,890～△5,711	△131 円 99 銭～△84 円 80 銭
増減率（%）	△18.7～△10.2	△100.0～△52.0	△106.5～△55.0	△132.8～△78.5	△132.9～△78.1	△132.9～△78.1
（ご参考）前期連結実績（2026 年３月期）	52,827	11,225	11,020	7,180	6,937	99 円 71 銭

（単位：百万円。ただし、基本的１株当たり当期利益は円銭）

（２）修正の理由

連結業績予想の修正を行う主な理由は以下の２点となります。

①のれんの減損損失の計上について

「１．のれんの減損損失の計上について」に記載のとおり、EG 社に係るのれんの減損損失 5,968 百万円を営業利益に含まれる費用として計上することにより、営業利益、税引前利益、当期利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益が、前回発表予想を下回る見込みです。

②ふるさとチョイスへの不正アクセスの影響について

当社の連結子会社である株式会社トラストバンクが運営する「ふるさとチョイス」において、不正アクセスが発生し関連サービスを一時停止いたしました。Web 版サービス再開までの停止期間（18 日間）の影響及び今後の寄附動向が不透明な点を踏まえ、ふるさとチョイスの流通総額（GMV）の想定を見直し、売上収益及び営業利益を下方修正いたします。なお、見直し後の予想は、不正アクセス発生前に見込んでいた GMV に対して、上限で 20%、下限で 60%下振れすることを前提としております。

３．配当予想の修正について

	年間配当金（円）		
	第２四半期末	期末	合計
前回予想（2026 年５月 14 日公表）	－	26 円 00 銭	26 円 00 銭
今回修正予想	－	未定	未定
当期実績	0 円 00 銭	－	－
前期実績（2026 年３月期）	0 円 00 銭	23 円 00 銭	23 円 00 銭

配当予想修正の理由

当社は財務規律としてのれん・無形資産をリスク資産と扱い、それを株主資本の範囲に収める方針を有しており、営業活動によるキャッシュ・フローにて株主資本の拡大を図りながら今後の M&A に備えた投資余力を確保していく考えであり、その株主資本を基準に配当水準を決めることで投資と還元のバランスを踏

まえた配当を実現します。具体的にはDOE3.6%かつ配当性向下限値15%を配当方針として設けています。

しかしながら今回の業績予想の修正に伴い、2027 年３月期の業績見通しの不確実性が高い状況となっていることから、期末配当予想（前回予想：１株当たり 26 円 00 銭）につきましては、「未定」といたします。今後の業績の推移等を踏まえ、業績見通し及び財務状況等を総合的に勘案し、配当の実施の可否及び配当額を決定次第、速やかにお知らせいたします。

なお、株主優待制度につきましては、従来どおり維持いたします。

※ 本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以 上